

令和5年度

教育委員会の事務執行に関する評価

(令和4年度対象)

令和5年12月13日

みやこ町教育委員会

目次

みやこ町教育委員会の自己点検・評価

I 教育委員会の活動	2
II 教育委員会が管理・執行する事務	4
III 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	1 1
1 子どもの教育環境の充実	1 2
2 社会教育の充実	2 5
3 スポーツの推進	3 5
4 地域文化の継承と振興	4 1
外部評価委員会の所見	5 1

教育委員会の事務執行に関する評価の概要

1. 教育委員会の事務の点検・評価制度について

平成20年4月から施行された『地方教育行政の組織および運営に関する法律』の一部改正により、教育委員会は、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理および執行の状況について、自己点検および評価を行い、報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

みやこ町教育委員会では、地域の教育課題や教育ニーズに応じた基本的な教育の方針・計画を策定し、これらに基づいて実施した政策について、その必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価・公表することは、町民に対する説明責任を果たすことにより、町民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進していく上で非常に重要なことであると考えております。

このことを踏まえて、令和4年度の教育委員会活動を

- I 「教育委員会の活動」
- II 「教育委員会が管理・執行する事務」
- III 「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

の3点から、教育委員会自らがその進捗状況・達成状況等について、点検・評価を実施し、報告書を作成しました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

評価判断基準

A 達成できた	B おおむね達成できた	C 達成できなかった
---------	-------------	------------

みやこ町教育委員会の自己点検・評価

I 教育委員会の活動

※令和4年度の評価を下段()で記入しています。

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(1) 教育委員会の会議の運営改善	① 教育委員会会議の開催回数	A (A)	○ 定例会を11回実施した。	
	② 教育委員会会議の運営上の工夫	A (A)	○ 教育委員会の会議における案件については、事務局から提案し、学校教育課長及び生涯学習課長が説明し、詳細については、担当係長等から補足説明を行った。	具体的な説明が十分に行われており、実践的な取組を評価したい。
(2) 教育委員会会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	① 教育委員会会議の傍聴者の状況	A (B)	○ 傍聴者3名(延人数)ホームページに開催日時を掲載し、傍聴を促している。	
	② 議事録の公開、広報・公聴活動の状況	A (A)	○ 議事録は、情報公開条例に基づいて、ホームページに掲載し公表している。	今後も引き続きHPにて掲載し公開を継承していただきたい。

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(3) 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	A (A)	○ 教育委員を対象にした研修会に参加した。 ・市町村教育委員会教育委員等 人権教育研修会 5/12 ・市町村教育委員会研修協議会 10/7 ・市町村教育委員会教育委員研修会 11/11 ・京築地区教育委員等研修会 2/6	教育員の皆様の積極的な参加・研鑽を評価したい。
(4) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	① 学校訪問	A (A)	○ 入学式、卒業式、運動会等の学校行事に参加した。	
	② 所管施設の訪問	A (B)	○ 豊津公民館で開催された、英語スピーチ大会に参加した。 ○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各施設で行われる生涯学習課の行事や体育協会等の行事への参加は行わなかった。	コロナへの対応を含め、訪問の意図的・計画的な実施を期待したい。

II 教育委員会が管理・執行する事務

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること		A (A)	○ みやこ町の教育施策について、定期開催される校長会にて説明した。また随時、各学校に説明、配布した。	
(2) 教育委員会規則及び規定を制定し、又は改廃すること		A (A)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・みやこ町学習等供用施設規則の一部を改正する規則の制定について ・ 公民館の利用に関する様式を定める規則の一部を改正する規則の制定について ・ みやこ町総合文化センター「ホール・福祉棟」管理運営規則の制定について ・ みやこ町人権教育・啓発に係る調査・研究活動補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について ・ みやこ町スポーツ競技全国大会等出場奨励金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について ・ みやこ町B & G海洋センター利用規則の一部を改正する規則の制定について 	時代や状況の変化に応じて条件整理等を行っていく必要があり、今後も継続したい。

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
			<ul style="list-style-type: none"> ・みやこ町体育施設の設置及び管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について ・みやこ町歴史民俗博物館規則の一部を改正する規則の制定について ・みやこ町文化財保護条例施行規則の制定について ・一時帰国に伴う体験入学に関する規則の一部を改正する規則の制定について ・みやこ町立学校教職員ストレスチェック実施要綱の一部を改正する訓令の制定について ・みやこ町教育委員会業績評価の結果に対する苦情の申出への対応に関する取扱要領の一部を改正する訓令の制定について 	

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
			<ul style="list-style-type: none"> ・みやこ町立小中学校県費負担教職員の自家用車による公務出張に関する取扱要領の一部を改正する訓令の制定について ・みやこ町立中学校の運動部員及び文化部員の県大会等出場費助成要綱の一部を改正する訓令の制定について ・みやこ町小中学校修学旅行の中止等に伴うキャンセル料補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について ・みやこ町立小規模特認校設置要綱の一部を改正する告示の制定について ・みやこ町PTA連絡協議会補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について ・みやこ町小中学校修学旅行等引率補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について 	

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
			<ul style="list-style-type: none"> ・みやこ町学校給食費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について ・みやこ町通級指導教室実施要綱の一部を改正する告示の制定について ・みやこ町教育委員会の公印に関する規則の一部を改正する規則の制定について ・みやこ町新型コロナウイルス感染症の影響による就学援助費の支給に関する要綱の制定について ・みやこ町家庭用モバイルルーター等の貸与に関する要綱の制定について ・みやこ町図書館規則の一部を改正する規則の制定について ・みやこ町体育施設の設置及び管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 	

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
			<ul style="list-style-type: none"> ・みやこ町教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について ・みやこ町新型コロナウイルス感染症の影響による就学援助費の支給に関する要綱の一部を改正する告示の制定について 	
(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		A (A)	○ 新年度予算について報告を受けた。	
(4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること		/	○ 該当なし。	
(5) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関する事		A (A)	○ 管理職人事、人事異動に係る内申を行った。	

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(6) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事		A (A)	<p>○職務の遂行が期待できる適任者の選定に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員 ・外部評価委員 ・学校医 ・学校ICT教育推進委員 ・みやこ町通学路安全対策推進協議会委員 ・みやこ町学校給食センター運営委員 ・みやこ町学校給食物資選定委員 ・みやこ町学校給食献立委員 ・みやこ町社会教育委員 ・みやこ町公民館運営審議会委員 ・みやこ町歴史民俗博物館運営委員会委員 ・みやこ町歴史民俗博物館専門委員会委員 ・みやこ町スポーツ推進委員会委員 ・みやこ町スポーツ推進審議会委員 ・みやこ町図書館協議会委員 ・みやこ町子ども読書活動推進計画審議会委員 	<p>学校のニーズに応じて適任者の任命を行っているが、より厳正で公明な任用を行うことが必要であり、質的向上を継続することを期待したい。</p>

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(7) 教科用図書採択の決定に関する事			○ 該当なし。	
(8) 通学区域を設定し、又は変更すること			○ 該当なし。	
(9) 文化財を指定し、又は指定を解除すること			○ 該当なし。	
(10) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関する事			○ 該当なし。	

Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

子どもたちが、ふるさとで学び、育ちそして大人になった時ふるさと・みやこ町への愛着と誇りとともに、平和を愛する気持ちを持ち続けることが大切だと考えます。

そのため、生命を大切に作る心を育てる教育の推進、「みやこ」ならではの文化を活かした活動や、学力の充実・向上、家庭の子育て支援などにより、次世代を担う子供を育てていきます。

また、生涯学習の推進に当たっては、住民一人一人のさまざまなニーズに応じて、住民が主体的に、“いつでも・どこでも・だれでも・なんでも”学ぶことができる学習の場づくりや情報提供を行います。

さらに、地域に伝わる歴史や伝統文化を継承し、活用するとともに、住民の主体的な文化・芸術活動を支援し、文化の薫り高いまちづくりに努めます。

※ 評価項目は、「みやこ町第3次総合計画」の基本計画に示された主要事業をもとに作成しています。

有 効 性	効 率 性	達 成 度	総 合 評 価
事業が目標達成に有効であるかを評価する。	事業が効率的に実施できたかを評価する。	計画通り達成しているかを評価する。	3つの評価項目を勘案し、総合的に評価を行う。
評 価 判 断 基 準			
A 有効である	A 実施できている	A 期待を上回る	A 達成できた
B おおむね有効である	B おおむね実施できている	B おおむね期待どおり	B おおむね達成できた
C あまり有効でない	C 実施できていない	C 期待を下回る	C 達成できなかった

1 子どもの教育環境の充実

○施策の方針

「自分のよさに気づき、なりたい自分を見つけ、志を持って成長していく子ども」を育てるため小中連携教育を推進し、国際理解教育の一環として英語教育の充実に努め、今後の多岐にわたる教育的ニーズに応える教育環境の充実に図るとともに、学校施設の再編整備・充実、チームとしての学校体制の整備に努めます。また、子どもの成長を見守る環境を作り、子どもの安全確保に努めます。学校給食については、関係機関との連携の下、地場農産物の利用を進め、子どもの健康を守る取組を推進します。

主要施策 ①子どもの教育環境の充実に図ります

※令和4年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
確かな学力の育成	確かな学力育成を図る教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ みやこ町若年研修を実施し、5年未満の教員、希望する非常勤講師等へ授業を通して研修を行っている。 ○ 町教委主催で校長研修、教頭研修、主幹教諭・教務研修を実施し、学力向上を図る管理職の役割と具体的指導について研修した。 ○ 町教委主催の若年教員研修を実施し、日常の授業の改善方策について研修した。 <課題・今後の方向性> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校と連携して若年研修の充実に図る。 	A (A)	A (A)	B (B)	A (B)	教育委員会主催の研修が充実していることを評価したい。
	家庭・地域と連携した学ぶ意欲と基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校では、家庭学習に活用できる副教材を配布し、学力向上につなげていく。 ○ H29年度より各中学校区主体で家庭と地域との連携を実施している。各中学校区で小中の状況に応じた取り組みが定着しており、小中で連携して、学校生活や基本的生活習慣に関するリーフレットを作成し配布して家庭との連携を図っている。 	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	作成・配付だけでなく、副教材等の効果的な活用方法を具体化し共有化していきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度まで、新型コロナウイルス感染症防止で人数制限等があったが、学校行事を通して、保護者に参観を願い家庭との連携を図っている。 					

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 個人に配布したタブレット等を活用し、出校停止等で登校出来ない児童生徒とのコミュニケーションや学習の支援を図った。 ○ 地域のボランティアによる各学校校区での登下校の指導を行っている。 ○ 不登校の児童生徒数や状況を把握し、情報を学校に伝えることで、学校に注意を喚起し、「マンツーマン対応」や「福岡アクション3」の充実した実施を促し、家庭との連携強化を図った。 ○ 校区での派出所や区長等との連絡会を通じた児童生徒の状況把握や安全対策等の情報発信に努めた。 <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校校区で取組状況に温度差があるが学校の状況・児童生徒の状況・校区の状況が必要としている取組の充実を図る。 ○ 中学校校区での取り組みは定着しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、停滞していた家庭訪問や学校行事を通じた家庭・地域との連携の充実を図る。 					

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	学力向上推進事業の効率的活用	<p>○ 小学校では、国語、算数の補助教材を配布したり、百マス計算、漢字に関するテストを年間4回実施し、児童への定着状況の把握及び取組の見直しを行った。</p> <p>全国学調、県学調の分析をもとに、各学校の学力向上担当者を中心に、学校の取組改善に向けた研修会を実施した。</p> <p>中学校では、年間を通して実力テストを行い県全体との比較を行い、学力の定着及び指導の見直しへつなげている。</p> <p>○ クラスター非常勤講師派遣事業で、黒田小・祓郷小・犀川小で対象となる若年教員を指名して研修を実施し、対象教員の授業力が向上した。</p> <p>○ KGG訪問と英語イベントの実施からなる体験的英語学習を推進し、分かる・話せる英語力の育成を図った。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 家庭と連携し、家庭学習の定着を図る。</p> <p>○ 若年教員の増加に伴い、指導の基礎・基本を身に着ける教育委員会指導主事による研修を継続・充実することが重要である。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	テストを実施して明らかになった成果や課題に対する今後の対応を検討し、より効果的・効率的な指導の具体化を期待したい。
	少人数学級等、多様な教育活動の推進	<p>○ 児童生徒に対するきめ細かな指導を実施するため、以下のようなみやこ町雇用教員の配置を行っている。</p> <p>35人学級実施のための常勤講師を配置 (小学校0名、中学校2名)</p> <p>35人学級実施のための非常勤講師を配置 (小学校2名) (中学校1名)</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<<課題・今後の方向性>> ○ 指導方法工夫改善教員及び小学校における専科教員の配置を進めていく。					
	I C T教育の推進	○ 児童生徒1台タブレット端末を配備が完了しさらに活用を進めるため、学校の意見を取り入れI C T活用計画を策定した。活用計画の作成に伴い周辺機器整備計画の見直しを行った。 ○ 小学校へ国語と算数、中学校には国語、数学、理科、社会、英語の指導者用デジタル教科書を全学年分購入した。 <<課題・今後の方向性>> ○ タブレットの持ち帰り学習など今後もタブレットを活用した学習指導を継続していく。 ○ I C T機器を活用した授業に関し、各校の活用の平準化を図る必要がある。	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	教員個々の資質等現場の状況を勘案し、必要な支援を行うことで教育格差が生じないよう配慮が必要である。 I C T活用の必然性と具体的な活用例を公開し、共有化することでより一層の活用を期待したい。
豊かな心の育成	道徳の授業改善	○ 児童生徒が自らの考えを深めたりするために指導方法の改善に努めている。 ○ 福岡県道徳教育地域指導者研修会等研修に教職員を推薦し派遣することにより小中学校の道徳教育の充実を図っている。 ○ 教育活動全体で行う道徳教育を推進するために教育指導計画書に「全体計画」と「年間指導計画」を作成・記載し実践している。 <<課題・今後の方向性>> ○ みやこ町若年教員研修で道徳の授業の改善に取り組む。 ○ 取組の継続・充実を図る。	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	意図的・計画的な人材育成を評価したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	生徒指導体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールソーシャルワーカー1名が児童生徒の問題対応、保護者と教職員に対する支援・相談・情報提供を行った。 小学校：7校 53回 派遣 中学校：4校 99回 派遣 ※R4全国問題行動調査集計より ○ 毎月の問題行動（不登校やいじめ等）の発生件数・内容を把握し、各学校への個別の指導や校長会議等での状況報告・指導を行い、各学校での生徒指導体制の充実を図った。 ○ 教育相談員1名やスクールカウンセラーを町予算で確保し、学校と連携して、校区内の巡回や児童生徒・保護者の教育相談、教師の相談支援に活用した。 ○ 相談電話一覧のリーフレットや行橋市適応指導教室への入室案内、県立大学の「サポートセンター案内」等を配布し不登校児童生徒の居場所づくりを図った。 ○ みやこ町要保護児童対策地域協議会での情報交換の会議に、年間6回課長補佐・担当指導主事・教育相談員・SSWが参加し連携が充実した。 	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	スクールソーシャルワーカーの支援・相談・情報提供が確実に実施されており、学校のニーズにも合致していることを評価したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<<課題・今後の方向性>> ○ 学校の状況把握の取組の継続により指導体制の充実を図る。 ○ 専門家による相談体制の継続により相談体制の充実を図る。 ○ 引き続き関係機関や相談電話、相談機関、フリースクール等の情報提供により学校以外での相談や居場所づくりにも努める。					
	豊かな感性や想像力を育てる読書活動の推進	○ 読書リーダーとなる児童生徒を養成し、学校内の読書環境の充実と小・中学生期における読書活動の推進を図る。 ○ みやこ町小中学生読書リーダー養成講座を実施した。 実施日 令和4年8月3日～8月4日 参加者 小学校 13名 中学校 6名 <<課題・今後の方向性>> ○ 取組の継続・充実を図る。	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	「子どもの読書推進計画」に沿って、読書リーダーの育成など必要な対策を講じ、学校図書司書や中央図書館と十分な連携を図り推進することが望ましい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	人権が尊重される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若年者を対象にした町主催の人権研修会を実施し、人権意識を高める取り組みを行った。 ○ 学校の教育活動全体を通して実践するために、「人権教育」の「全体計画」「年間指導計画」を作成・実践して充実を図っている。 ○ 「学校いじめ防止基本方針」を作成し、学校教育のアンケートを各学期1回以上実施し、教育相談や学級指導等と連動して、人にやさしい学校風土・学級風土の醸成を図った。 <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取組の継続と確実な実践を図る。 	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	
健やかな体の育成	体力向上に向けた教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の体力・運動能力は全国平均以上、中学校は運動技能で女子が全国平均を下回っており課題を把握し、重点的に取り組んでいる。 <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取組の継続・充実を図る。 	B (B)	B (B)	B (B)	B (B)	
	安全・安心な学校給食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調理員へは年3回、学校の配膳担当者へは年度当初1回、衛生研修を実施した。 ○ 作業マニュアルに沿った作業を行い、随時見直しをすることで、衛生管理の徹底と調理技術の向上を図っている。 ○ 温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べられるように二重食缶を使用して配食している。 ○ 地場産農作物の利用促進を図るために関係機関との連携を深め、学校給食小委員会で毎月会議を開催し「生育状況」や「出荷時期」の情報交換を行い「みやこ町産野菜」の使用に努めた。 	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	<p>残食調査を実施し、食品ロスの問題を含め、更なる改善を望む。</p> <p>事業としての取組成果が昨年以上に上がっており、今後も継続を期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月19日は「食育の日」にちなみ、地場産農産物を取り入れた学校給食を配食するとともに、「地場産物だより」を発行し、各家庭に配布している。また、毎日、給食の写真とその日の地場産物をフェイスブックで紹介し、「サラダをおかわりしたそうです」「ハヤシライスとフルーツミックスが美味しかったそうです」など味に関するコメントをいただくとともに、「本当に素晴らしい七夕バージョン」など星型コロケや星型ニンジンなど盛り付け写真に関するコメントもいただいた。 ○ 「給食カレンダー」を毎週発行し、毎日の献立内容について知らせたいポイントを掲載することで食育の推進が図れた。 ○ 栄養教諭が学校訪問を行い、「バランスのよい食べ方」をテーマに食べ物は大切な働きがあり、嫌いな物も工夫して食べるように意識付けを行った。 ○ 生産者の努力や工夫が児童生徒に伝わるよう圃場で動画撮影を行い、「食育の日」の給食時間に各学校で配信している。 ○ 小・中学校長代表、小・中学校のPTA代表、小・中学校給食担当教諭、学校給食センター職員で構成する献立委員会を年10回開催し、年間献立計画に基づき作成した献立について協議することで連携した取組ができた。 					

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校に入学する新1年生の保護者に「学校給食について」（学校給食の目標、栄養管理、使用食材等）の便りを配付し家庭へ周知ができた。 ○ 「みやこ町食物アレルギー対応マニュアル」を活用して、食物アレルギーをもつ児童生徒が、「安心・安全」な学校生活を送ることができるように努めた。 ○ 学校との情報交換会を開催し、食物アレルギーをもつ児童生徒の状況等について情報共有することで、食物アレルギー事故の防止に努めた。 <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も衛生面に注意を払い、おいしい学校給食を提供していく。 ○ 食物アレルギーをもつ児童生徒へ適切な対応が図られるように、さらに学校との連携や情報共有を図っていく必要がある。 ○ 栄養教諭による学校訪問を計画的に実施するとともに、引き続き給食の内容等が適切であるか検討していく。 					
特別支援教育の推進	児童生徒のニーズにあった指導・支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の実態や状況に応じた特別支援学級の設置による特別支援教育の充実を図っている。 ○ 通常の学級に在籍する特別に支援を要する児童生徒の指導に向けた「通級による指導」を実施している。 ○ 通級による指導の充実を図るため、合理的配慮協力員2名を配置した。 	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	児童生徒の教育的ニーズに応じた体制及びシステムづくりができており、そのことを評価したい。ただ、特別支援教育の人材育成や研修の機会が限られているため、中長期の視点にたった意図的・計画的な取組を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 適正就学に向けたきめ細かな教育相談を実施している。</p> <p>○ みやこ町特別支援教育研修会を年2回、通級担当教員研修を1回実施した。また、年間を通じ通級担当教員と教育委員会の協議会を実施し、指導の充実を図った。</p> <p>《課題・今後の方向性》 障がいのある児童生徒の合理的配慮は、今後さらに充実を図る必要がある。 児童生徒の教育相談の充実と、就学の適正化につなげるための家庭と学校が情報共有できるシステムづくりが必要である。</p>					
	通級指導の充実	<p>○ 犀川小・黒田小を拠点校として、町雇用の教員を2名採用し巡回による指導を実施し、児童生徒の移動時間や保護者の負担軽減を図りながら指導の充実に努めている。</p> <p>《課題・今後の方向性》 ○ 巡回指導内での指導内容の更なる充実を図る。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	通級指導の充実を評価したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
信頼される学校づくり	地域に信頼される、魅力ある学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の安全な通学体制を確立するためスクールバスの運行、スクールガードリーダー、見守り隊の配置を行った。 スクールバス 9路線 115名 スクールガードリーダー 3名 安全見守り隊 54名 ○ みやこ町独自の不祥事防止の取組やアンケートを通して、教職員の学校のコンプライアンス意識を醸成し保護者や地域への対応の充実を図る。 ○ 学校の教育活動や課題等に係る説明責任を、管理職のみならず担任等の職員が適切に果たし学校通信や学級通信、口頭等の情報発信に努める。 <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ バスの安全運行の徹底、スクールガードリーダーの確保に努める。 ○ 家庭と学校が情報共有できるシステムづくりが必要である。 	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	<p>スクールバスの運行は町独自の施策であるため、今後も継続をお願いしたい。</p> <p>各学校のHPに学校通信や学級通信を掲載し、共有化を図りたい。</p>
	家庭や地域と連携・協力した学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域学校協働活動の充実を図り、コミュニティスクールの推進を図る取り組みを進めた。 <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年度に犀川小中・伊良原小中にコミュニティスクール導入に向けて、計画を策定し研修を深めている。 	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	<p>コミュニティスクールは学校任せではなく、教育委員会主導で推進するためにも予算化と実施計画等を計画的に推進していくことを期待したい。</p>

主要施策 ②子どもが安全・安心して教育を受けられる環境をつくります

※令和4年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
学校施設の効率的な維持保全		<p>○ 長寿命化計画に沿って、老朽化した校舎等を適切に修繕、改修した。 トイレ改修工事（黒田小、勝山中） 空調設置工事（勝山中、豊津中） 学校修繕件数 132件</p> <p>《課題・今後の方向性》 ○ 今後も老朽化が進むことが想定されるので、適切な修繕を行う。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	長寿命化計画に沿って適切に修繕、改修されていることを評価したい。
統廃合を含む学校再編整備についての検討と学校再編の推進		<p>○ 豊津地区学校再編整備事業に関する新校舎建設工事の着手で、令和6年4月開校を目指す。 新校舎建設工事の施工2年目</p> <p>《課題・今後の方向性》 ○ 引続き豊津地区小学校の校舎建設工事を施工する。また、みやこ町立中学校及び勝山地区小学校の再編整備にあたり、候補地の選定作業等を行い統廃合を推進する。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	小学校の統廃合は犀川、豊津地区は順調に再編されているのに対して、方向性が見えていない。 子供たちが教育を受けることに対して不公平な状況が生じないように配慮が必要である。
保護者の経済的負担の軽減		<p>○ 就学が困難であると認められる児童生徒の保護者に対し、必要な援助をする制度として就学援助を実施した。 認定者 小学校 218名 中学校 125名</p> <p>《課題・今後の方向性》 ○ 申請率向上のため、周知を徹底する。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	申請率向上のためにどのような工夫・改善を行うのか早急に示すことを期待したい。

主要施策 ③家庭の教育力の向上を図ります

※令和4年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
保護者が自主的・主体的に親として学習と実践ができる仕組みづくり		<p>○ 家庭教育力向上を目的とした「家庭教育講演会」や「親子で学ぶ規範育成講演会」を実施し、共通の認識を深めるとともに具体的実践に取り組み、保護者としての自覚と生命尊重の意識が高まった。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 実践内容の周知が図られており、保護者の主体的な取り組みに移行する必要がある。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	学校教育課の取組だけでは対応出来ない内容が含まれるので、生涯学習課や社会教育委員会と連携した事業が求められる。
豊かな感性をもった子どもの育成を図る体験教室の実施		<p>○ 人格的資質の育成を図るため、全校で取組内容を決定し保護者と連携して実践する「鍛えよう！ほめようプロジェクト」に取り組み、自尊感情や学ぶ意欲、人格的資質が高まった。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 取組の継続と確実な実践を図る。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	「鍛ほめ」の事業が教育課程内における学力向上の取組に向かっているため、その方向性を意識した取組を期待したい。

2 社会教育の充実

○施策の方針

これまで行ってきた学習機会の提供を継続していくため、公民館活動や広報誌、ホームページなどを通じた生涯学習に関する情報提供の充実を図るとともに、各地域の優れた技術や経験をもった人材活用や社会教育団体などの活動を支援します。

主要施策 ①生涯学習環境の整備を進めます

※令和4年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
情報提供の充実とライフステージに応じた学習機会の提供		<ul style="list-style-type: none"> ○ 町広報誌・防災行政無線・ホームページ等を活用し、高齢者大学、女性学級、文化健康講座等の情報提供を行っている。 ○ 高齢者大学を次の5地区で開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 勝山たちばな大学 年11回開催、申込者42名 対前年度9名減 ・ 犀川地区ふれあい大学 年9回開催、申込者60名 対前年度2名増 ・ 城井地区さわやか大学 年9回開催、申込者56名 対前年度0名増減 ・ 伊良原地区ふれあい大学 年6回開催、申込者24名 対前年度25名減 ※帆柱地区脱退のため ・ 豊津平成学級 年7回開催、申込者21名 対前年度12名減 	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	様々な条件や困難がある中、計画的に実施していることを評価したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 女性学級を次の3地区で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勝山女性学級 年9回開催、申込者25名 対前年度6名減 ・ 犀川女性学級 年8回開催、申込者35名 対前年度16名減 ・ 豊津女性学級 年8回開催、申込者20名 対前年度14名減 <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの方に参加していただけるよう、広報誌やホームページ・チラシの配布方法等の工夫に努める。 ○ 申込者数が年々減少傾向にあるため、統合等も視野に入れて検討していく必要がある。 ○ 社会教育指導員や地域活動指導員を中心に講座内容の充実を図り、多くの方が参加したくなるように、引き続き、魅力のある学級運営に努める。 					学級の内容によってはオンラインによる実施等も検討することが必要であり、そのことを期待したい。
公民館活動の活性化と地域住民の学習活動への参加の推進		<p>○ 公民館活動の事業紹介や展示 公民館活動を紹介し、広く参加者を募るため、講座や大学などの開催状況がわかる展示を行い、参加を促した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イベントに捕らわれずに公民館活動の活性化と地域住民の学習活動への参画を促せる方策を検討する。 	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	公民館利用の割合を高めるための具体的な方策の提言を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
地域人材を活用した学習内容の充実		<p>○ アンビシャス広場の推進 地元ボランティアが中心となって行っている諫山校区アンビシャス広場の活動は、コロナ禍において縮小せざるを得なかったが、町として金銭的・人的支援を行っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 地域ボランティア等指導者不足が見受けられるため、引き続き、事業の必要性を理解する人材の育成が必要である。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	今後、コミュニティスクールの取組み等、地域人材の育成が必要となるため、人材育成プログラムを構築し、併せて社会教育主事の育成と活用をするべきである。
文化施設を活用した学習活動の推進		<p>○ 高齢者大学・女性学級、文化健康講座等の会場として文化施設「サン・グレートみやこ」を利用している。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 図書館・博物館や社会教育団体等と連携を図り、文化施設の有効活用に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	
		<p>○ 歴史民俗博物館における学習活動事業 ・博物館友の会の運営と事業展開 博物館友の会は博物館と協働して各種の文化・学習事業を展開しているが、コロナ下にあっても以下事業を展開することができた。 令和4年度における登録会員数 137名（前年比2名減）。 →文化事業（作文コンクール） →愛護活動（三重塔すす払い） ※レク事業（バスハイクやウォーク事業）はコロナ対応に伴い中止</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	学校教育と連携しながら、さらなる事業の充実を期待したい。特に文化施設と学校施設との融合等を視野に入れた検討を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>・各種学習活動・団体支援（友の会以外） →博物館歴史講座 4種類の文化学習講座を運営 年間受講者数：697人（前年比275名増） →古墳まつり（講演等・絵画コンクール） 4年度の実績：コンクールのみ実施 →文化遺産ボランティア（愛称「豊み隊！」） 2G+1Wと称する3種の活動を通じて町の文化遺産の保護支援活動を展開。 4年度の登録者数33名（前年比1名減）</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○活動団体の育成及び事業展開の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友の会は活動や事業の情報発信に努め、新規会員、特に若年層の会員確保を促していく。また、コロナ情勢の変化に対応した事業メニューの復活や情報収集・開発に努める。 ・講座受講者が固定化する傾向の打開を企図して多様な学習メニューの開発や、未受講者の関心を高める広報周知に努める。 ・ボランティア活動についても同様の多様化や登録者の関心の汲み取りを工夫する 					

主要施策 ②図書館の利用を促進します

※令和4年度の評価を下段()で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
多様な資料の提供と快適な読書環境の整備		<p>○ 図書館の再編により、従来の中央図書館を本館とし、犀川・勝山図書館を分室としており、本館を図書館ネットワークの中心館とし、分室や移動図書館を管理運営している。</p> <p>○ 再編後の各館の役割を見据えた資料収集を行い、蔵書構成や内容について、日常的に評価、利用状況等を参考に除籍、資料の更新にあたった。</p> <p>《課題・今後の方向性》 公共施設再配置計画による図書館再編後も関係課や関係機関と連携を取りながら、各地域住民へのサービス提供に努める。なお、本年度は電子図書館の導入により、多様な資料の提供と快適な読書環境の整備を推進する。</p>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	<p>図書館が行う事業の多くが本館で行っているため、分館との格差が大きく、特に子どもに関する読書推進に営業があると思われる。</p> <p>町域の広いみやこ町では、子育て世代へのサービスが十分ではないと思われ、子育て環境に大きな役割を占める図書館行政については、在り方の再検討が必要ではと思う。(栗焼委員)</p> <p>移動図書館や電子図書館のさらなる利用・活用の促進を期待したい。</p>
広報活動の充実と各種行事の開催		<p>○再編による閉館等によりWeb予約の受付は減少したが、ホームページやフェイスブックを活用し、事業の周知に努めた。</p> <p>・令和4年度 2,963件 (令和3年度 3,677件)</p> <p>○読書週間関連事業</p> <p>・読書エッセイ募集 応募者 10名</p> <p>・図書館deコンサート 育徳館高校管弦学部のミニコンサート 実施回数 4回 聴衆166名</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		○ブックリサイクル 除籍資料を提供。常設コーナーを設置。					
		○テーマ展示 季節やその時期の関心事をテーマに資料展示を実施。 <課題・今後の方向性> インターネットでのサービスを積極的に周知するとともに、レファレンス等、新たなサービスについても検討する。 引き続き、図書館に足を運ぶきっかけとなるイベントを企画、実施する。					
関係機関と連携した子どもの読書活動の推進		○第3次みやこ町子ども読書活動推進計画による、関係機関や団体の連携・協力等、子どもの読書環境を整備している。 ○4カ月、12カ月の赤ちゃんとその保護者に読み聞かせ体験とともに絵本を配付。 ・配布者 167名(対象者 182名) ○ブックスタートフォローアップ事業 「いっしょにあそぼう! わらべうた」 実施回数 4回 参加者 42名	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	読書離れや文化離れが深刻な問題となっているため、読書環境を充実するという観点から、今後の事業の継続をお願いしたい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○子ども向けイベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 年齢別に読書ボランティアや図書館職員によるおはなし会を実施。 参加者 218名（前年度 122名） ・子ども読書まつり 特別展示「本のレストラン」 ・夏休みチャレンジ教室 「ダンボール飛行機をつくろう」 参加者 24名 「スケルトンうちわをつくろう」 参加者 29名 ・園児対象図書館見学会 年長児対象の館内見学とおはなし会 開催回数7回、参加者101名 ・移動図書館 小学校 3,252冊（前年度 2,264冊） 保育所等 5,462冊（前年度 3,619冊） <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>関係課や関連団体と連携を取りながら、子どもの読書活動を支援する。 特に読書離れが顕著な中高生の読書活動の推進に努める。</p> <p>親子が利用しやすい環境づくりと育児関連書や乳幼児向け絵本の充実などによる図書館の利用促進を図る。</p>					

主要施策 ③図書館を活用した地域文化活動を促進します

※令和4年度の評価を下段()で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
人材の育成及び確保		<p>○読書ボランティア養成事業 ・読書ボランティア交流会 1回 参加者 24名</p> <p>《課題・今後の方向性》 読書ボランティア活動を支援するとともに、新たな人材の育成に努める。 また、ボランティアが町内各地で活動できる仕組みを検討する。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	今後の人材の育成・発掘を期待したい。
地域住民による文化活動の推進		<p>○出張博物館 博物館所蔵品の一部を展示</p> <p>○博物館イベントに関連した特集コーナー 企画展の内容に合わせた資料展示</p> <p>《課題・今後の方向性》 博物館の企画と連動した企画を実施するなど連携を図る。</p>	A (A)	B (A)	A (A)	A (A)	

主要施策 ④歴史民俗博物館の事業振興と機能強化を図ります

※令和4年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
博物館の体制強化と文化資源を活かした企画展の開催		<ul style="list-style-type: none"> ○ 期限付任用職員（1名）の採用で、学芸員の負担軽減を図り、学芸業務へ傾注できる体制の確保に努めた ○ 自主企画展として以下の展示や関連事業を実施し、関心や評価を高めることが出来た。 <ul style="list-style-type: none"> ・「みやこの刀剣」展（4～5月） ・「綴り方教師が愛した河童達」展（8月） ・夏休みこども体験教室（8月） ○ さまざまなゆかりのある博物館や施設・機関・地域と、資料や情報・人的資源等の交流・連携を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・九州歴史資料館（小郡市/貸出） 特別展「京都平野と豊国の古代」展 ・香春町歴史資料館（香春町/貸出） 企画展「香春の学校」展 ・行橋市歴史資料館（行橋市/貸出） 企画展「椿市廃寺の時代」展 ほか <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き学芸員の事務負担軽減の工夫を続けると共に、世代交代を見据えた学芸職員の採用計画の具体化に努める。 ○ 自主企画事業については、住民の関心やニーズの汲み取りに努力するとともに、これまでに収集した資料の活用にも留意する。 ○ 自館からもゆかりの館へ連携・調整を働きかけるなどして、交流事業（企画展や講演、シンポ事業、共同調査等）の展開を目指す。 	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	住民が気楽に参加したくなるような企画と地域との連携が求められており、百武間業務のデジタルデータの公開等を検討していただきたい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
歴史文化遺産の保護と公開・情報の発信		<ul style="list-style-type: none"> ○ 対外知名度の高い資料（小笠原文庫・小宮豊隆資料・堺利彦資料など）の貸出を含む特別利用に対応するとともに、資料に関するレファレンスにも積極的に対応した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別利用件数 : 40件（前年比+8件） ・ レファレンス件数 : 91件（前年比▲45件） ○ 他の資料についても貸出を含む各要望層の特別利用申請に対応し、資料の利活用促進に努めた。 ○ 基幹ページの運営・管理とともにサイドメニュー「みやこ町文化遺産」による、町内や博物館の文化遺産・関連催事の情報発信に努めた。 基幹ページは「新着情報」や「資料整理の現場から」など、館の活動や情報を発信するコーナーの積極的更新に努め、魅力あるHPづくりに努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ PV総数375,942（対前年度比96%） <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の利活用促進のための閲覧や情報・所在等検索システム制作・整備や、それに対応できる整理作業や高機能収納設備・専従員配置などの環境整備を目指す。 ○ 資料の恒久的保存のための計画を作成し、継続的な資料管理を行う。 ○ 機能性の高いページへの改装と、情報更新頻度の向上や操作可能人員や体制の加増援等で、HPの閲覧や利用の増進を図る。 	A (A)	A (A)	B (B)	B (A)	文化遺産のデジタル化の促進を今後も期待したい。

3 スポーツの推進

○施策の方針

スポーツ・レクリエーション活動は、住民相互の交流を生む機会として重要です。これまで行ってきたスポーツフェスタなどのイベントを今後も継続し、誰でもいつでも気軽に参加できるスポーツレクリエーション活動を推進します。また、スポーツレクリエーション活動の活性化を図るために指導者の資質向上に向けた研修会に取り組みむとともに、限られた施設を継続して利用できるように適正な管理を行います。

主要施策 ①住民主体のスポーツ・レクリエーション活動を推進します

※令和4年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
気軽に参加し、楽しむことができるスポーツ・レクリエーション活動の推進	海洋性スポーツの普及	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町広報誌等で海洋性スポーツレクリエーション体験教室、海洋クラブ員の募集をし活動を実施した。 レクリエーション参加者数：53名 クラブ参加者数：10名（活動日数7日） <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導者等の人数が減少したことにより安全面を考え、教室1回あたりの参加人数は縮小しているが、経験豊富な業者に一部委託をしたことにより、指導力の向上が図られた。 	A (A)	A (A)	A (C)	A (C)	
	スポーツ推進委員等によるニュースポーツの普及・推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ推進委員による「みんなで楽しく遊ぼうデー」、「ふれあいスポーツ教室」は、新型コロナ対策による中止期間中に事業の見直しを行った。 	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	事業内容について「スポネットTOYOTU」との連携が多く、勝山や犀川を含んだ事業の均衡が必要と思われる。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ スポネットTOYOTSUとの連携によりジュニアプログラムやシニア体力アップ事業などに参画するとともに社会教育事業である子ども体験教室では指導者として協力した。令和4年度は社会教育事業への派遣がなかった。 <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係各課・機関等と連携し、引き続き、誰もが参加できるニュースポーツの普及・推進に努める。 ○ スポーツ推進委員も高齢化傾向にあるため、若手の推進委員の加入促進を図る必要がある。 					<p>コロナ化の中で実施できることを確実に実施するとともに、次を見越した内容検討を行ったことが、今後に活かしていく具体化を生み出すことを期待したい。</p>
	スポーツフェスタの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ感染防止のため総合開会式は中止、各競技は実施した。 参加者数：886名 <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツフェスタとして根付きつつあるので、当面は継続していく。 	A (A)	A (A)	B (C)	B (C)	
	アダプテッド・スポーツの取組 ※アダプテッド・スポーツ(adaptedsports)…障がい者や高齢者、子ども、女性等が参加できるように修正された、あるいは新たに作られた運動	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ推進委員を中心に障がい者や高齢者のスポーツの指導者講習会等に参加し指導者の養成に取り組んだ。 第1回目のアダプテッドスポーツ体験会(モルック、ボッチャ)を実施する事が出来た。 <p>《課題・今後の方向性》</p>	A (A)	B (B)	B (C)	B (C)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	やスポーツ・レクリエーション全般のこと。	○ 障がい者向けのスポーツメニューへの対応力を強化し、機会を逃さずに障がい者スポーツの普及振興を図る体制の構築に努める。					
		○ スポーツ推進委員やスポネットTOYOTSUと連携して、障がいのある方を対象とするスポーツ教室の開催について検討する。					
	ホームページの管理・運営事業	○ 施設管理状況の変更内容等の更新やイベント等の案内・結果等の情報提供を行っている。 ≪課題・今後の方向性≫ ○ 今後とも迅速かつ的確な情報提供に努める。	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	コロナの影響が残る中、今後 に期待したい。
健康づくり、生きがいづくりに向けての運動機会の提供		○ 水泳大会1回、ソフトボール大会5回、ミニバスケットボール大会3回、バレーボール大会2回、町民ウォーク大会を感染防止対策を行い、体育施設の利用制限を遵守した上で実施した。 ○ 町立保育所年長・年中を対象にしたリズム体操・水泳教室を実施した。 ○ B&G杯としているソフトバレーボール大会や剣道大会を実施した。 ○ スポネットTOYOTSUでジュニアプログラム年間31回、一般・シニアの体力アップ運動教室を年間44回実施。水中運動教室を年間15回実施した。 ≪課題・今後の方向性≫	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	少しずつ条件を守りながら実施していることを評価したい。 今後も関係機関との連携を糧にすることを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		○ 今後もスポネットTOYOTSUや体育協会・スポーツ推進委員等関係機関と連携し、より多くの町民が参加できるよう多種多様なスポーツ・レクリエーション機会を提供していく。					

主要施策 ②競技スポーツを振興します

※令和4年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
<p>体育協会を中心としてチャンピオンシップスポーツの振興</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育協会の主催により、陸上、卓球、バレーボール、軟式野球、ソフトボール、水泳、ソフトバレーボール、サッカー、空手、剣道、バドミントン等のチャンピオンスポーツ活動を支援（大会助成、施設使用料の減免等）している。 ○ 京都郡大会や県民スポーツ大会などに町代表選手の派遣を行っている。 ○ みやこ町さわやかマラソン大会兼京都郡ロードレース大会を実施した。 出場者数：360名 ○ 福岡県民スポーツ大会を筑後地区で実施した。 出場者数：136名（京都郡単位） <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、体育協会の組織体制強化及び活性化を図るとともに、チャンピオンスポーツへの支援体制について体育協会と協議していく。 	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	<p>体育協会主催の様々なスポーツ活動が実施されそれを支援している成果が現れてきていることを評価したい。</p>

主要施策 ③指導者の育成・発掘を行います

※令和4年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スポーツ・レクリエーション指導者の育成		<p>○ 海洋性レクリエーション事業について、近隣2大学の学生によるボランティア指導者養成事業に取り組んだ。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 海洋性スポーツ・レクリエーションの指導者づくりが課題である。今後計画的にB&G財団主催の指導者養成研修への参加を図りたい。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	大学生の活用を継続し、若い指導者の育成に期待したい。
スポーツリーダーバンクの構築と活用		<p>○ スポーツ推進委員やスポネットTOYOTSUを中心に指導者講習会等に参加し、指導者の養成に取り組み、各種団体からの依頼に対応している。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ スポーツリーダーになるべく人材育成及び組織構築が課題である。当面は、指導者の育成強化を図るため、現指導者に対して指導者講習会等への参加を促していく。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	

主要施策 ④既存の体育施設を有効活用し健康づくりを促進します

※令和4年度の評価を下段()で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
複合的な活用を考えたスポーツ施設の活用		<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊津運動公園内には第4種陸上競技場、体育館、プール、トレーニングセンターなどがあり、さわやかマラソン大会や隣接の菖蒲園などのまつりにも利用されている。昨年度に続いて豊津運動公園の樹木伐採により、見通しを良くしウォーキングなど公園利用者の利便性を図った。 ○ 犀川体育館・中央公民館・周辺駐車場を利用した産業祭を実施した。 ○ 犀川運動公園の野球場・多目的グラウンドが、毎年少年サッカー大会やソフトボール大会など京築や近郊大会の主会場となっている。 <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係各課・機関と協議検討を行い、複合的な施設の有効活用に努める。 	A (A)	A (A)	B (C)	B (C)	意図的・計画的な整備の実施を行い管理を進めていくことを今後も期待したい。
海洋性スポーツ・レクリエーション施設(B&G財団)の利用促進		<ul style="list-style-type: none"> ○ 犀川B&G艇庫(本庄池)でのカヌー・ヨット教室を実施した。 ○ 豊津B&G体育館(利用者25,930名:対前年度18,760名増)においては、学校行事・部活動などの利用(無料)、各種団体(体育協会、子ども会、老人会など)への使用料減免措置を行っている。 <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プールを計画的に保全する必要がある。 	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	みやこ町の特性を今後に残すことを願いたい。

4 地域文化の継承と振興を図る

○施策の方針

文化財を町の重要な資源として保存・継承するために、必要な整備や文化財保持・継承団体への支援を行うとともに、老朽化した施設・設備の再整備を図ります。また、文化協会の体制強化を図り自主運営に向けた取り組みを支援するとともに、各文化団体の自主性・独立性を推進するための必要な措置・支援を行います。

主要施策 ①町内の文化財の保存と活用を推進します

※令和4年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
歴史公園の有効活用		<p>○ コロナ禍での稀少な憩いの場として一定の利用があり、文化財の有効活用を促進できた。</p> <p>・ 豊前国府跡公園 隣接する直売所「国府の郷」利用者やコロナ下における子ども世帯を中心とした関係者の、安全・安価な休憩・レク施設として利用されている。</p> <p>・ 豊前国分寺跡公園 上記同様の理由で利用度は高かった。活用催事である三重塔まつりは、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ※関連催事の少年少女俳句大会は実施</p> <p>○ 国府跡・国分寺跡の両歴史公園は、清掃や軽微な日常管理について地元区へ委託しており、地域住民と協働して管理・愛護する体制を継続できている。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	安全に活用できるための管理の充実を継続したい。地元区へ委託することで、郷土愛や愛着の育成・向上を期待できるため、今後も推進を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ その他の文化財についても、地元等との協働管理と有効活用（公開・広報顕彰等）を心掛け、歴史・文化遺産豊かな本町の特質のアピールに努めた。主な協働管理が行われる文化財は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 永沼家住宅 ・ 勝山地区古墳群（綾塚古墳ほか3件） ・ 小笠原文庫 <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 引き続き、まつりについては、事務局を担う行政に業務が集中する傾向がみられることから町の政策課題として再検討を行い、内容や形態の見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三重塔まつり（現状維持・工夫） <p>○ 経年劣化等がみられる文化財のうち代表的なものについては、所有者等とも連携・調整のうえ、有効な補助メニューの活用や長期展望を踏まえた維持管理に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊前国分寺跡（排水環境等回復整備） ・ 当麻曼荼羅（経年劣化） <p>○ 手軽な公開・活用が困難な文化財については、対象物件のデジタル資料化等により、インターネット上での公開が可能となる環境整備を進める。</p>					デジタル化のさらなる推進を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
国、県町指定文化財の普及啓発		<p>○ 主として現地への誘導を図る案内板は、観光まちづくり課と連携し、同課のサイン事業計画の指針と調整しつつ、協働・支援の形で実施し、全計画事業を完了した。</p> <p>○ 現物の解説普及を担う解説板については、現地確認の上、緊急性の高いものから改修を行った。 ・事例：豊前国府跡公園内解説板 1式</p> <p>○ 町内外の関心ある団体や個人を対象とした学習支援活動（ガイドなど）を通して、指定文化財をはじめとする町の自然・文化遺産の広報普及啓発に努めた。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 案内板については、引き続き観光まちづくり課とも連携しながら、適宜新設や更新・再整備を行う。</p> <p>○ 解説板については、指定文化財を中心に、それ以外でも公開環境が整うものについては今後、計画的かつ継続的に設置を進めると共に、必要に応じて再整備や更新を進める。 また、設置については対象文化財の公益性や実情に配慮し、文化財保護委員会と作成した指針を目安に整備を進める。</p> <p>○ 学習支援活動は肯定的評価に伴い増加傾向にあるが、業務に支障をきたしかねない面もあることから、ボランティアの積極的登用・活用が望まれる。</p>	A (A)	B (A)	B (B)	B (A)	<p>学校再編でどのような位置づけになるかはまだ不透明であるが、国指定史跡である「橘塚古墳」は全国的にも評価の高い方墳なので、保存活用を検討してもらいたい。また、あわせて「文化財保存活用地域計画」の策定を検討してもらいたい。</p> <p>地域住民からのアイデアを募って具体化することを期待したい。</p>

主要施策 ②遺跡・文化財の整備と広報普及を推進します

※令和4年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
遺跡保護のための調査、記録		<p>○ 各種開発事業に対応した保存対応の調査や立会・調整作業等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 試掘・確認調査 1件（前年度 1件） ・ 工事立会 5件（前年度 7件） ・ 本発掘調査 3件（前年度 0件） ※ただし整理調査のみ ・ 照会件数 106件（前年度 96件） <p>○ みやこ町発足後に実施された国庫補助事業に係る発掘調査成果報告書作成のための整理・刊行事業計画〔第2次：R2～R7〕に着手し、3件（①原ノ浦・宮ノ谷北古墳群 ②豊前国府跡（惣社地区） ③犀川小学校校庭遺跡）の調査報告書を刊行した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 遺跡や開発への影響を最小限にとどめる対応・調整を引き続き進めていくとともに、分布地図に代表される埋蔵文化財の所在情報の把握や更新に努める。 ○ 作成した報告書整理・刊行事業計画〔第2次〕に基づき、引き続き調査成果報告書の刊行に努める。 ○ 調査成果の公開・活用に向けた取り組み（企画展や各種の学習支援・広報活動）を行う。 	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	計画的な維持・補修を評価したい。 国や県との連携による管理や環境整備を今後も期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
文化財の適切な整備		<p>○ 遺跡・文化財のうち、経年劣化や周辺を含めた環境改善等必要なものについて、補修や環境改善事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡等〈不動産系文化財〉 甲塚方墳（繁木類の伐採・撤去） ・美術・工芸・典籍等〈動産系文化財〉 曼陀羅寺蔵絹本著色当麻曼荼羅図 （修理／法人事業〔事業支援等〕） <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <p>○ 地域や所有者等の協力の下、引き続き有効かつ効率的な対象物件の恒久的保存に必要な施策や管理・環境整備を進める。</p> <p>○ みやこ町遺産の具体的総合行政計画と位置付けられる「文化財保存活用地域計画」の策定に向けて調整・協議等を進めていく。</p>	A (A)	B (A)	B (B)	B (A)	<p>経年劣化は想定内のため、計画的に補修や環境改善事業を進めていくことをお願いしたい。</p> <p>併せて、早期の「文化財保存活用地域計画」の策定を期待したい。</p>

主要施策 ③文化団体などの活動支援による地域文化を活かした文化振興事業を推進します

※令和4年度の評価を下段()で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
文化財の保持・ 継承団体の支援		<p>○ 毎年、指定文化財保存団体や地域史研究団体等の文化財愛護団体に対し、各種補助・支援・協力等を行い、文化財の保存・継承、顕彰愛護活動を支援している。</p> <p>コロナウイルス感染症拡大防止のため、伝統文化公開事業は、全て中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存団体 福岡県豊前神楽保存連合会 生立八幡宮山笠保存会 千女房桜を守る会 黒田楽保存会 ・文化財愛護団体 みやこ町郷土史研究会 豊津郷土史会 堺・葉山・鶴田三人顕彰会 <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 指定文化財保存団体や地域史研究団体等の文化財愛護団体に対し、引き続き支援を行う。また、支援については、補助金に限らず、関係者ニーズや公益性・有効性のあるものについて内容や方法を検討しながら進めていく。</p> <p>○ 民俗文化財については、急速な社会情勢の変化に鑑み、その保存・継承に向け学識者を交えた学術調査とともに映像・音声等も活用した記録保存事業の実施が望まれる。</p>	A (A)	A (A)	C (C)	C (C)	コロナで実施されなかったが、再会できた時の在り方を検討し、具体化することを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
文化振興につながる活動や、自主運営に向けた取り組みの支援		<p>○ 文化協会等が主催または町と協働しておこなう文化・芸術活動支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、文化協会が主催する事業や活動に対し補助事業による活動支援を行うとともに、公開事業や町との協働事業には人的・物的な支援を行い、同会を介した町民向け文化・芸術活動の振興に努めている。 ・コロナウイルス感染症拡大防止のため、関連事業・催事は一部中止。 →花しょうぶまつり記念発表会（6月）中止 →文化月間記念発表会（10月）中止 →産業祭記念発表会（11月） →文化芸能フェア（3月） <p>○ 文化団体の自主的な運営に向けた取組・活動等支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会が、構成単位となる各文化団体や教室はもちろん、町内外の文化芸術団体・関係機関等とも積極的に交流や調整を担う主体として機能できるよう、組織運営を含め支援や調整を行っている。 	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	<p>芸術文化振興については以前、東京芸術大学との協働で地域文化に特化した取組みなども行われていたため、地域文化の振興についての検討をしていただきたい。</p> <p>自主運営を促進するためにも、今後のあり方を十分に検討していくことを期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 伝統文化(遺産)を活かした文化振興事業を実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内外から多くの児童生徒が作品参加する以下の文化振興催事を開催している →文化のみやこ作り記念コンクール(10月) 作品募集のみ(表彰式を行わない)で実施 作品は10月中、博物館にて展示 1) 絵画コンクール 応募総数: 1,053点 最優秀賞を博物館入場者の投票で決定 (前年度 1,126点) 2) 作文コンクール 応募総数: 15点 (前年度: 23点) →塔まつり記念少年少女俳句大会(2月) 作品募集のみ(表彰式を行わない)で実施 応募数: 7,909句 (前年度: 8,090句) 大会特選句を「小宮豊隆賞」「三四郎賞」「蓬里雨賞」とし、みやこ町ゆかりの先人を顕彰・周知する機会となっている。 ・ 先人顕彰関連事業として「ふるさとの偉人マンガ制作活用事業(B&G財団補助事業)」に着手し、町の先人「吉田健作・増蔵」兄弟の事績を紹介する啓発漫画資料を作成した。 					歴史ある大会等の取組を今後も継続し、参加者の年代も広げていくことをお願いしたい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化協会が行う町民等一般への公開・還元を目的とする公益性の高い事業については引き続き支援・協力を進めていく。特に会員の高齢化等による会員数の減少化傾向がみられることから、新規会員の加入促進に努めるとともに、会の新たな魅力発信や事業・組織改変等について、多方面から検討する。 また、文化協会に属さない個人や団体も参加が可能な文化催事やその支援の在り方等についても検討する。 ○ 文化協会の事務は、現在町の会計年度任用職員が行っているが、協会がより自主的な運営へ移行できるよう、今後の支援の在り方について、事例研究や情報収集を進めると共に、協会とも協議・調整を進め、より良い運営形態を模索する。 ○ 文化芸術振興事業について、町独自の指針や公的な位置づけを明示する条例や規則等の制定について検討する。 					

令和5年度 みやこ町教育委員会自己点検・評価（令和4年度対象）に対する外部評価委員会の所見

外部評価委員長 芋生 修一（前福岡教育大学教職大学院 特任教授）
委員 中村 政弘（みやこ町教育行政経験者）
委員 栗焼 憲児（みやこ町教育行政経験者）

みやこ町教育委員会が令和4年度に取り組んだ活動について自己点検・評価をおこなったが、その点検・評価に対して外部評価委員会は3回にわたる委員会において慎重に審議した結果、以下の所見を述べる。

1. 外部評価の意義及びみやこ町教育委員会点検・評価の方法

『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』の一部改正（平成20年4月施行）により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、報告書を作成し、議会に提出するとともに、情報公開の一環として広く市町村住民に公開することにより、住民に対して説明責任（アカウンタビリティ）を果たすことが求められることとなった。

みやこ町における自己点検・評価及び外部評価は今年で12年目を迎えた。今年度の点検・評価及び外部評価は、基本的には前年度までの内容及び方法をほぼ踏襲して、令和4年度の教育委員会活動を、Ⅰ. 教育委員会の活動、Ⅱ. 教育委員会が管理・執行する事務、Ⅲ. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の3つに区分し、それぞれについて教育委員会の活動の進捗・達成状況等を点検・評価している。その中で、「Ⅲ. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に係る主要施策・主要事業、及び各活動については、「みやこ町第3次総合計画(2021～2025年)の基本計画に示された主要施策・主要事業に対応し、「1 子どもの教育環境の充実」「2 社会教育の充実」「3 スポーツの推進」「4 地域文化の継承と振興」の4つの施策から構成され、各々に主要事業が設定されている。

以上の各施策及び事業の達成に向けて実施された活動（取組）に対して点検・評価を実施している。

各評価項目（取組）に対する点検・評価及び外部評価にあたっては、「Ⅰ 教育委員会の活動」及び「Ⅱ 教育委員会が管理・執行する事

務」については、各取組の実施状況に対して、評価基準を「A.達成できた」「B.おおむね達成できた」「C.達成できなかった」の3段階評価として教育委員会が自己点検・評価したものを項目ごとに外部評価委員がその内容を確認し、別紙評価シートに評価を記載するとともに、以下の所見で総合的評価を記載する形をとっている。また、「Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、「有効性」「効率性」「達成度」の観点及びそれら3つの「総合評価」という4つの観点が設定されている。そして、「有効性」の観点から「A.有効である」「B.おおむね有効である」「C.あまり有効でない」、また「効率性」の観点から「A.実施できている」「B.おおむね実施できている」「C.実施できていない」、「達成度」の観点から「A.期待を上回る」「B.おおむね期待どおり」「C.期待を下回る」、最後に「総合評価」として「A.達成できた」「B.おおむね達成できた」「C.達成できなかった」のそれぞれ評価判断基準を設けた。

この評価方法による各項目の点検・評価の結果について、外部評価委員会は、2回にわたる聞き取りにおいて各担当部署に具体的な説明を求め、別紙評価シートにできる限り簡潔にその評価を記載するとともに、以下の所見において詳細に述べている。

2. 「教育委員会の活動」及び「教育委員会が管理・執行する事務」に対する外部評価

ここでは、上記「Ⅰ. 教育委員会の活動」及び「Ⅱ. 教育委員会が管理・執行する事務」に係る取組について所見を述べる。

<1> 教育委員会の活動

(1) みやこ町教育委員会会議の運営、公開等

① 教育委員会会議の運営改善に関すること

会議は、定例会11回が計画的に開催され、適切な運営がなされていると判断する。また、案件については、事務局から提案し、学校教育課長及び生涯学習課長が説明し、詳細については担当係長等が補足説明をするなど、綿密な提案と慎重な審議が行われ、教育委員会としての方針を示したことで学校及び生涯学習環境が混乱することなく、教育活動を継続できたことは評価したい。

② 教育委員会会議の公開、保護者や地域住民への情報発信に関すること

これまでの外部評価において、教育委員会会議をはじめ、自己点検・評価や外部評価に関する情報の公開及び会議の傍聴を促す取組を積極的に推進してほしい旨を指摘してきた。そうした指摘に対応して、平成25年度以降、教育委員会会議の開催についてホームページに掲載し周知を図るなど、努力が継続的に行われてきた点を評価する。今後も移動教育委員会会議の開催や町広報誌等の利用及びホームページやSNS等による情報公開など、町民の積極的関与のための工夫を期待する。

③ 教育委員の自己研鑽に関すること

県内あるいは京築地区で実施された研修会に計画的・継続的に参加していることが確認された。今後も、教育方法や教育内容の急

激な変化に対応できるように、研修会や研究協議会等への参加による知見（情報等）を確実にフィードバックし、みやこ町の教育行政や教育実践の改善・改革に結びつけるよう一層の研鑽・研修の充実を期待したい。

④ 学校及び教育施設に対する支援・条件整備に関すること

学校や地域の状況を把握するため、積極的・定期的に学校及び所管の教育施設を訪問していることを評価したい。新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、今後の状況を観察しながら、学校及び教育施設に対する訪問等を検討・実施していくとともに、訪問後の指導内容や協議内容等を積極的に公開し、町民へ学校や教育施設の状況を周知していきたい。

< 2 > 教育委員会が管理・執行する事務

- (1) 本年度もみやこ町教育施策について審議・策定し、定期開催される校長会での説明を行った上で各学校に配付していることが確認された。今後も教育委員会の考え方及びその施策遂行について、各学校長が作成する学校経営要綱へ具体的に反映し、具現化することを期待したい。今後も継続するとともに、学校運営や組織化の在り方を交流し合う場と機会を設け、よりよい学校教育の在り方を確かなものにするように期待したい。
- (2) 教育行政運営の必要上あるいは各学校及び地域の教育実状等への対応の必要性など、時代の変化や状況に伴った見直しが常に行われ、適切に諸規則の改正等のアップデートを行っている判断し、評価したい。
- (3) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事項では、学校及び生涯学習環境のニーズに応えた適任者の選定がなされていると判断する。今後も、日常的な町内の人材情報の収集を行い、経験豊富で適切な人材を任命又は委嘱するよう心がけることを期待するとともに、適任者の選定に関するより厳正で公明なシステムが必要であり、質的向上を継続することを期待したい。

3. 「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に対する外部評価

「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」は、「みやこ町総合計画」に則り4つに大別された大項目「子どもの教育環境の充実」「社会教育の充実」「スポーツの推進」「地域文化継承と振興」であり、それぞれの大項目のもとにいくつかの主要施策、さらにその主要施策のもとに主要事業が示されている。点検評価は、主要事業の有効性、効率性、達成度を確認して評価したものである。以下は、教育委員会による自己点検評価に対して外部評価委員会が実施した評価の所見である。

<1>子どもの学習環境の充実

標記の主要施策のもとに、「子どもの教育環境の充実を図ります」「子どもが安全・安心して教育を受けられる環境をつくります」「家庭の教育力の向上を図ります」の3つの主要施策が設けられている。

(1) 子どもの教育環境の充実を図ります

この主要施策のもとに、「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「特別支援教育の推進」「信頼される学校づくり」の5つの主要事業が示されている。

「確かな学力の育成」については、「確かな学力育成を図る教職員研修の充実」「家庭・地域と連携した学ぶ意欲と基本的な生活習慣の確立」「学力向上推進事業の効率的活用」「少人数学級等、多様な教育活動の推進」「ICT教育の推進」の5つの取組が、また、「豊かな心の育成」については、「道徳の授業改善」「生徒指導体制の確立」「豊かな感性や想像力を育てる読書活動の推進」及び「人権が尊重される学校づくり」の4つの取組が、そして、「健やかな体の育成」については、「体力向上に向けた教育活動の推進」「安全・安心な学校給食の提供」の2つの取組が、「特別支援教育の推進」については、「児童生徒のニーズにあった指導・支援の推進」「通級指導の充実」の2つの取組が、さらに、「信頼される学校づくり」については、「地域に信頼される、魅力ある学校づくりの推進」「家庭や地域と連携・協力した学校づくりの推進」の2つの取組がそれぞれ実施されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下のとおりである。

- ① 「確かな学力育成を図る教職員研修の充実」については、5年未満の若年教員や非常勤講師等の研修だけでなく、校長や教頭、主幹教諭・教務を対象とした研修会を計画的に実施していることを評価したい。今後は各学校におけるOJTを通じた人材育成のシステムが確立することを期待したい。
- ② 「家庭・地域と連携した学ぶ意欲と基本的な生活習慣の確立」については、小学校における家庭学習に活用できる副教材や小中連携した基本的な生活習慣に関するリーフレットを作成・配付するとともに、副教材の活用方法等も併せて具体化していることを評価したい。今後は、活用方法の具体例を共有化し、より効果的・効率的な活用が推進されることを期待したい。また、個人に配付したタブレットを活用した学習支援も評価したい。
- ③ 「学力向上推進事業の効率的活用」については、補助教材の配付や共通テストの年4回の実施、中学校による実力テストの実施などを通して、学力の定着や指導改善につなげていることを評価したい。今後は、課題となった指導内容への対応・対策を各学校の実態に応じて具体化していくことを期待したい。
- ④ 「ICT教育の推進」については、学校の意見を取り入れたICT活用計画を策定したり、それに応じて周辺機器整備計画を見直

したりしてICT、特にタブレットを活用した学習指導を推進したことを評価したい。今後は、ICT活用の必然性を明確にするとともに、具体的な活用事例を公開し共有化していくことで、より効果的・効率的な活用が推進されることを期待したい。また、教員個々の資質・能力等の教育現場の状況を勘案しながら、教育格差が生じないように配慮願いたい。

- ⑤ 「道徳の授業改善」については、県内の研修会へ意図的・計画的に参加・派遣を行い、計画的な人材育成が行われていることを評価したい。
- ⑥ 「生徒指導体制の確立」については、ソーシャルワーカーの支援・相談・情報提供が確実に実施されており、学校のニーズとも共有化できていることを評価したい。
- ⑦ 「豊かな感性や想像力を育てる読書活動の推進」については、「子どもの読書推進計画」に沿って読書リーダー養成など評価できるが、今後は学校図書司書や中央図書館と十分な連携を図りながら推進することを期待したい。
- ⑧ 「安全・安心な学校給食の提供」については、各事業としての成果が昨年よりも上がっており、今後も事業の継続を図るとともに、残食調査を実施し、食品ロスの問題を含めたさらなる改善を期待したい。
- ⑨ 「児童生徒のニーズにあった指導・支援の推進」については、適切な人的配置が計画的・継続的に行われていることを評価したい。今後も教育的ニーズに応じた体制づくりのためにも、協力員等の指導力のある人材確保と配置及び増員を今後も期待したい。さらには、就学前からの指導の引き継ぎを図るためにも、保険福祉課や子育て・健康支援課等の他部署や幼稚園・保育所等との連携が必要であるため、その連携のシステムを一層強化していきたい。
- ⑩ 「通級指導の充実」については、拠点校を設置して計画的に指導を実施していることを評価するとともに、就学の適正化に向けた情報共有のシステムづくりを期待したい。
- ⑪ 「家庭や地域と連携・協力した学校づくりの推進」については、子どもたちの安全な通学体制を維持・確立するためにもスクールバスの運行継続をお願いしたい。また、各学校のホームページに学校通信や学級通信を掲載することで、家庭と学校の情報共有の確立を期待したい。

(2) 子どもが安全・安心して教育を受けられる環境をつくります

この主要施策では、「学校施設の効率的な維持保全」「統廃合を含む学校再編整備についての検討と学校再編の推進」「保護者の経済的負担の軽減」が示されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下のとおりである。

- ① 「学校施設の効率的な維持保全」については、老朽化した校舎等の計画的な修繕・改修が行われていることを評価したい。
- ② 「統廃合を含む学校再編整備についての検討と学校再編の推進」については、保護者や地域住民等の理解と協力のもと計画的な統廃合を推進していることを評価したい。今後は再編に関する時期や場所等を明確に示すとともに、教育を受ける子どもたちに不利益や不公正な状況が生じない配慮を期待したい。

(3) 家庭の教育力の向上を図ります

この主要施策では、「保護者が自主的・主体的に親として学習と実践ができる仕組みづくり」「豊かな感性を持った子どもの育成を図る体験教室の実施」が示されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下のとおりである。

- ① 「保護者が自主的・主体的に親として学習と実践ができる仕組みづくり」については、家庭教育力向上を目的とした取組が計画的に実施され、保護者の意識改革を促していることを評価したい。今後は学校教育課だけの取組だけでは対応できない内容が含まれているので、生涯学習課や社会教育委員の会と連携した事業の推進が必要であるとともに、学校主体ではなく保護者主体となる組織づくりや取組を期待したい。
- ② 「豊かな感性を持った子どもの育成を図る体験教室の実施」については、「鍛ほめ」プロジェクトへの取組が効果をあげているため継続を期待したい。

<2>社会教育の充実

標記の主要施策のもとに、「生涯学習環境の整備を進めます」「図書館の利用を促進します」「図書館を活用した地域文化活動を促進します」「歴史民俗博物館の事業促進と機能強化を図ります」の4つの主要施策が設けられている。

(1) 生涯学習環境の整備を進めます

この主要施策のもとに、「情報提供の充実とライフステージに応じた学習機会の提供」、「公民館活動の活性化と地域住民の学習活動への参加の促進」「地域人材を活用した学習内容の充実」「文化施設を活用した学習活動の推進」の4つの主要事業が示されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下のとおりである。

- ① 「情報提供の充実とライフステージに応じた学習機会の提供」については、各地区での計画的な開催及び内容の充実を評価したい。今後は、受講者のニーズに応じた内容の検討を行うとともに、内容によってはオンラインでの実施も検討したい。また、生きがい対

策の一環として継続的に取り組んでいくことを期待したい。

- ② 「公民館活動の活性化と地域住民の学習活動への参加の促進」については、公民館利用の割合を高めるためにはどのような方策・工夫が必要なのか検討し具体化することを期待したい。
- ③ 「地域人材を活用した学習内容の充実」については、今後コミュニティースクールの取組において地域人材の育成が必要となるため、人材育成プログラムを構築し、併せて社会教育主事の育成と活用を図っていくことを期待したい。
- ④ 「文化施設を活用した学習活動の推進」については、学校教育と連携しながら、さらなる事業の充実を期待したい。特に文化施設と学校施設との融合等を視野に入れた検討を推進したい。

(2) 図書館の利用を促進します

この主要施策のもとに、「多様な資料の提供と快適な読書環境の整備」「広報活動の充実と各種行事の開催」「関係機関と連携した子どもの読書活動の推進」の3つの主要事業が示されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下のとおりである。

- ① 「多様な資料の提供と快適な読書環境の整備」については、図書館が行う事業の多くが本館で行っているため、分館との格差が大きく、特に子どもに関する読書推進に影響があると思われる。町域の広いみやこ町では、子育て世代へのサービスが十分ではないと思われ、子育て環境に大きな役割を占める図書館行政については在り方の再検討を行うとともに、移動図書館や電子図書館のさらなる利用・活用の促進を期待したい。
- ② 「関係機関と連携した子どもの読書活動の推進」については、読書離れや文化離れが深刻な問題となっているため、読書環境を充実するという観点からも今後の事業の継続をお願いしたい。

(3) 図書館を活用した地域文化活動を促進します

この主要施策のもとに、「人材の育成及び確保」「地域住民による文化活動の推進」の2つの主要事業が示されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下のとおりである。

- ① 「人材の育成及び確保」については、人材育成については喫緊の課題であるが、意図的・計画的・継続的に進めることが必要であり、早急な人材育成システムの構築を期待したい。
- ② 「地域住民による文化活動の推進」については、博物館や公民館等の取組や企画と連携した各事業の実施を期待したい。

(4) 歴史民俗博物館の事業促進と機能強化を図ります

この主要施策のもとに、「博物館の体制強化と文化資源を活かした企画展の開催」「歴史文化遺産の保護と公開・情報の発信」の2つの主要事業が示されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下のとおりである。

- ① 「博物館の体制強化と文化資源を活かした企画展の開催」については、町民が気楽に参加したくなるような企画と地域との連携が求められており、デジタルデータ公開等の検討を期待したい。
- ② 「歴史文化遺産の保護と公開・情報の発信」については、文化遺産のデジタル化の促進を今後も期待したい。

<3>スポーツの推進

標記の主要施策のもとに、「住民主体のスポーツ・レクリエーション活動を推進します」「競技スポーツを振興します」「指導者の育成・発掘を行います」「既存の体育施設を有効活用し健康づくりを促進します」の4つの主要施策が設けられている。

(1) 住民主体のスポーツ・レクリエーション活動を推進します

この主要施策のもとに、「気軽に参加し、楽しむことができるスポーツ・レクリエーション活動の推進」「健康づくり、生きがいづくりに向けての運動機会の提供」の2つの主要事業が示されている。

「気軽に参加し、楽しむことができるスポーツ・レクリエーション活動の推進」については、「海洋性スポーツの普及」「スポーツ推進委員等によるニュースポーツの普及・推進」「スポーツフェスタの充実」「アダプテッド・スポーツの取組」「ホームページの管理・運営事業」の5つの取組がそれぞれ実施されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下のとおりである。

- ① 「スポーツ推進委員等によるニュースポーツの普及・推進」については、事業内容について「スポネット TOYOTU」との連携が多く、勝山や犀川を含んだ事業の均衡をお願いしたい。また、コロナ禍の中で実施できることを確実に実施するとともに、次を見越した内容検討を行うことで今後の具体化を期待したい。
- ② 「ホームページの管理・運営事業」については、コロナ感染症の影響が残る中においても常に情報提供を行っており、今後の事業の継続に期待したい。
- ③ 「健康づくり、生きがいづくりに向けての運動機会の提供」については、少しずつ条件を絞りながら様々な大会やイベントを実施していることを評価したい。

(2) 競技スポーツを振興します

この主要施策のもとに、「体育協会を中心としてチャンピオンシップスポーツの振興」の主要事業が示されている。

- ① 「体育協会を中心としてチャンピオンシップスポーツの振興」については、体育協会主催の様々なスポーツ活動が実施され、それを支援している成果が現れてきていることを評価したい。

(3) 指導者の育成・発掘を行います

この主要施策のもとに、「スポーツ・レクリエーション指導者の育成」「スポーツリーダーバンクの構築と活用」の2つの主要事業が示されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下のとおりである。

- ① 「スポーツ・レクリエーション指導者の育成」については、指導者養成研修事業の充実を図るとともに、近隣大学の学生を活用しながら若い指導者の計画的な育成を期待したい。

(4) 既存の体育施設を有効活用し健康づくりを促進します

この主要施策のもとに、「複合的な活用を考えたスポーツ施設の活用」「海洋性スポーツ・レクリエーション施設（B&G財団）の利用促進」の2つの主要事業が示されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下のとおりである。

- ① 「複合的な活用を考えたスポーツ施設の活用」については、意図的・計画的な整備の実施を行い管理を進めていくことを今後も期待したい。
- ② 「海洋性スポーツ・レクリエーション施設（B&G財団）の利用促進」について、みやこ町の特性を今後に残すことを願いたい。

<4>地域文化の継承と振興

標記の主要施策のもとに、「町内の文化財の保存と活用を推進します」「遺跡・文化財の整備と広報普及を推進します」「文化団体などの活動支援による地域文化を活かした文化振興事業を推進します」の3つの主要施策が設けられている。

(1) 町内の文化財の保存と活用を推進します

この主要施策のもとに、「歴史公園の有効活用」「国、県町指定文化財の普及啓発」の2つの主要事業が示されている。

- ① 「歴史公園の有効活用」については、デジタル化を含め、安全に活用できるための管理の充実を今後も継続したい。また、地元区へ委託することで、郷土愛や愛着の育成・向上を期待できるため、今後も推進を期待したい。
- ② 「国、県町指定文化財の普及啓発」については、国指定史跡である「橘塚古墳」は全国的にも評価の高い方墳なので保存活用の検討が必要であり、併せて「文化財保存活用地域計画」策定の検討を期待したい。さらに、地域住民からのアイデアを募って具体化することを期待したい。

(2) 遺跡・文化財の整備と広報普及を推進します

この主要施策のもとに、「遺跡保護のための調査、記録」「文化財の適切な整備」の2つの主要事業が示されている。

- ① 「遺跡保護のための調査、記録」については、計画的な維持・補修を評価したい。また、国や県との連携による管理や環境整備を今後も期待したい。
- ② 「文化財の適切な整備」については、経年劣化は想定内のため、計画的に補修や環境改善事業を進めていくことをお願いしたい。併せて、早期の「文化財保存活用地域計画」策定を期待したい。

(3) 文化団体などの活動支援による地域文化を活かした文化振興事業を推進します

この主要施策のもとに、「文化財の保持・継承団体の支援」「文化振興につながる活動や、自主運営に向けた取り組みの支援」の2つの主要事業が示されている。

- ① 「文化財の保持・継承団体の支援」については、新型コロナ感染症防止のため十分に実施できなかったが、今後再開できた時の在り方を十分検討して具体化することを期待したい。
- ② 「文化振興につながる活動や、自主運営に向けた取り組みの支援」については、芸術文化振興に関して以前は、東京芸術大学との協働で地域文化に特化した取組みなども行われていたので、地域文化の振興についての検討をお願いしたい。自主運営を促進するためにも、今後の在り方を十分に検討していくことを期待したい。さらに、歴史ある大会等の取組を今後も継続し、参加者の年代も広げていくことをお願いしたい。



4. 全体所見

これまで主要事業の各取組について評価してきたが、最後に全体所見として2点記しておきたい。

(1) 「成果のある事業の継続・充実」

令和4年度におけるみやこ町教育委員会の施策については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画されていたいくつかの事業が自粛・中止または規模縮小による開催となった。特に4つに大別された大項目の中で「社会教育の充実」「スポーツの推進」「地域文化の継承と振興」に関する施策の内容に多くにみられた。しかし、その中でも開催に向けた工夫と努力がなされて実施された多くの事業に関しては、いずれの項目においても概ね着実に実施されていると判断する。また、いずれの取組も計画的に実施され、その検証も確実に行われている点を積極的に評価したい。

一方、新型コロナウイルス感染症拡大防止の中でも顕著に成果をあげている事業として、「子どもの教育環境の充実」での「確かな学力の育成」における若年研修の実施やタブレットの配備と活用推進、「健やかな体の育成」におけるみやこ町産野菜の使用や食育の日の取組、「特別支援教育の推進」における合理的配慮協力員の配置や巡回による通級指導、「信頼される学校づくり」におけるスクールガードリーダーや見守り隊の配置、「学校施設や効率的な維持保全」における長寿命化計画に沿った修繕・改修がある。「社会教育の充実」では「図書館利用の促進」における図書館のネットワーク化及びホームページやフェイスブックの活用、「歴史民俗博物館の事業振興と機能強化」における学芸業務体制の構築やホームページの運営・管理の充実がある。「スポーツの推進」では、「住民主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進」における海洋性スポーツの普及や生きがいづくりに向けての運動機会の提供がある。さらに「地域文化の継承と振興」では、「遺跡・文化財の整備と広報普及の推進」における遺跡保護のための意図的・計画的な調査・記録の実施は有効な取組であり、今後も成果が大いに期待できる。

(2) 他課との連携及び情報の共有化による効果的・効率的な事業展開の継続・発展

現在、施策や事業についてはみやこ町教育委員会内の2課9係によって、主要施策の決定や取組・事業名及び担当課の決定等が行われ、担当各課を中心に必要に応じて首長部局の他課と連携して施策や事業の具体的な取組が行われている。

今後の各施策の実施の在り方として、単独事業としての良さは残しつつも、他部署との連携・協働事業として展開することより効果的・効率的な事業になる施策も考えられる。その中であって、必要不可欠なのは情報の共有化である。これは関連部署だけでなく、地域住民に対しても同様のことが求められている。今後積極的に他部署や他の教育機関・施設との連携のビジョンとシステムの確立を行っていき、ICT機器やSNSといった手法を用いながら情報の共有化と事業の拡大・発展を期待したい。